

あんどくりすの防災四季だより

第4回 放送日：2019.4.26（金）

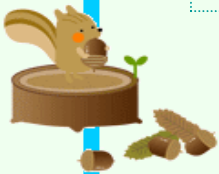
パーソナリティ：あんどくりす

テーマ：「風」の話



「命を守る」という大切なことに役立つのは、
アウトドアのスキル。

阪神大震災を被災した「あんどくりす」さんが、
防災・減災の方法を楽しく導きます。



防災に役立つ工夫を、習慣にしませんか？

桜も咲いて陽ざしが強くなったのに、
春はなんだか寒く感じますね。

それは、風のせいなんです。

今日から「風」を意識してみましよう。



春先のダウンジャケット



本日は、春の風についてお話しします。

春で寒い日というのは、
だいたい風が強い日が多いんです。

風速1mで、体感温度は1℃下がります。
風を防がないと、「寒さ」って実は防げないんです。

4月もだいぶ過ぎて暖かいので、
ダウンはもうしまっちゃったという人でも、

少し寒く感じると、「やっぱりダウンだ」という人が
結構いらっしゃいます。

ダウンは空気を溜めて、
溜まった空気が断熱材になるので、
暖かい(体温を保つ)素材なんです。



外から風を浴びると、
ダウンは羽をしぼめてしまいます。
雨が降っても、ダウンは羽をしぼめます。
(含む空気の量が減るので、断熱効果が薄れます)

雨や風の日には、
実はあんまりダウンは向いていないんですね。



風の日には



風の日にも最も着なければならない服、それは風を防ぐ服装なんです。



春はお花見やピクニックなど、屋外で過ごす時間が増えますね。

そんな時、な～んか寒いという人は、

風をうまく防いでいない可能性があります。

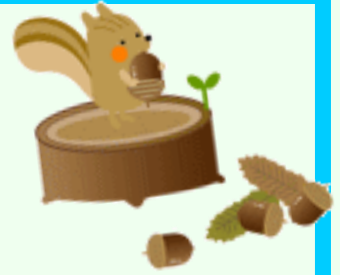
上はコートを羽織るけれど、足元が寒くて……。という場合。

ボトムスがジーンズなどだと、風を通すので、寒く感じます。

服装を考えるときは「風」のことを、ちょっと気をつけてみてください。



風と災害



災害をひどくしてしまう場合、
風が影響していることがあります。

1923年に起こった関東大震災ですが、
当時、台風の風が吹いていました。

地震発生当時、
南風で秒速10～15mくらいの風が吹いていたのです。

その後北風に変わり、22mくらいの風が吹いた
とされています。

火事によって被害が拡大したんですね。
それは台風の「風」の影響(※1)を受けていたのです。

(※1)

石垣島あたりで発生した台風が、
日本を縦断するように進行していた。

地震発生時刻には能登半島付近にあって、
関東地方でも相当の強風が吹いていた。

風が強く、その風向きが大きく変化したことで、
延焼の方向が次々に変わって焼失域を広範囲にした。



春の嵐



「春の嵐」(※2)と言うと、
なんかポカポカとしたイメージがあるので、
台風とは違うだろうと思いがちです。

ところが過去の記録を見ると、
4月や5月でも風速50mの風が吹いている
という場合もあるんです。

関東大震災の時よりも、ずっと強い風、
台風の風よりもひどい風です。

日ごろ、「風」は全然意識されませんが、
災害時には被害を大きくします。

皆さんを寒くするものでもあるので、
「風の強さ」というのを

普段からよく知っておいてください。

(※2)

3月～5月頃日本付近に、
北から入り込んでくる冷たい空気と、
南から流れ込む暖かい空気がぶつかり、
上昇気流が生まれることで急速に発達した温帯低気圧のこと。
メイストーム。

ちなみに台風の場合は、
台風の中心が近づくと急激に風が強まる。が、

「春の嵐」をもたらす発達した温帯低気圧は、
中心から離れたところでも風が強く吹くため、
被害の範囲が広がりやすいという特徴がある。



風のスピード

「風速10m～15mの強風が吹いています。」と
言われても、
ピンとこない方がほとんど。



TV映像でよく見るのは、
傘をさして飛ばれるシーンですね。

絶対、狙って撮ってますよね(笑)

あのシーンが取られることが多いのですが、

風速10mとか15mというのは、
換算してみると、

時速50kmなんです。

そうしてみると、
バイクで飛ばしながら傘をさしているのと同じ！

そんな人、いないですよ？

時速に換算してみると、
そんなことは絶対しないのに という事を、

風速にすると
平気でやっちゃうという事があります。

風というものを、
ぜひ意識しておいてほしいんです。



どっちの方から吹いてくる？

さきほど関東大震災の話をしました、

風がどっちの方向から吹いてくるかというのも、
実はとても重要なんです。



天気予報を聞いているとき、
天気だけ気にして風の事は全く聞いていない。

という方が、たぶんほとんどの人。
多くいらっしゃると思います。



今日からぜひ、

どっちの方角から、どのくらいの強さで
風が吹いてくるのかを意識してください。

風速3mくらい吹いていると、
かなり体感で分かります

ま、風速1mでも分かってほしいんですが。(笑)





今日は風速3mくらい吹いているな



絶対風を防ぐ格好をしなきゃいけない！

という風に、

その天気予報を見ながら、聞きながら
対応できるようになって下さい。

災害時、
ひどい風が吹いているときに、

「こんな風ではとても外に出られない。」などと、
判断ができるようになるので、

ぜひ、風と仲良しになってください。



田無タワーで方角が分かる！



風向き、それは、
都会の人は全く分からないと言われていました。

静岡で講演をすると、
この地方は、
富士山を基準に考えるので分かるそうですよ。

あ、でも西東京市も、
方角が分かる方が結構いらっしゃいます。

「田無タワー」を基準に考えるという事ですね！

先ほどラジオ局のスタッフの方に
お聞きしたのですが、

帰りがけに方角が分からなくなったり、
どっちが家かな？
どっちが職場かな？ と思った時には、



この「田無タワー」を目印にするそうです。

都内で唯一、方角がわかる地域の人が、
西東京市の人たち。

という風に思っています。



今、小学校3年生で磁石の授業があるのですが、

「まったく方角が分からない。」
というお子さんが増えていると言われています。

生まれた時からカーナビで、

「300m先右、左」という声しか
聞いていないからだとか！（笑?!）



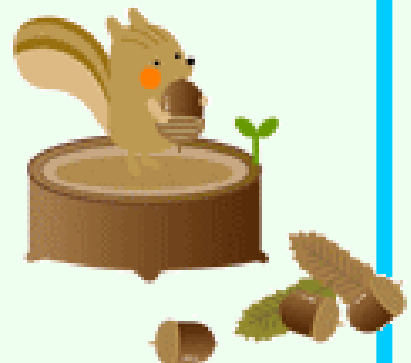
いいですね♡
地域のランドマークがあるという事は。

「方角が分かる」という
リスナーの皆さんの特性があるので、

あとは「風向きがわかれば」万全です。

次週もこの「風」の話を
引き続きお送りしたいと思います。

来週もよろしくお願ひします。



(TEXT/ はしも)